

帆船「みらいへ」で帆船「エスメラルダ」をお出迎え

会員 福富 廉

万博関連イベントで大阪港に寄港するチリ海軍の帆船「エスメラルダ」を、大阪・関西万博のスペシャルサポーターの帆船「みらいへ」がエスコートシップとして大阪湾口で出迎え、両船が帆を広げて大阪湾を北上する企画に参加することができたので、その様子をレポートする。

1. 神戸港を出港し帆走訓練

「みらいへ」は神戸港中突堤を 6 月 11 日（水）11 時に雨の中を出港した。中突堤の周囲には色々な船がいて楽しい。船は大阪湾の真ん中で帆走訓練をして、夜は関西空港沖で錨泊した。



かもめりあ中突堤に停泊中の帆船「みらいへ」



中突堤付近の当日の様子 左に「にっぽん丸」、中央に「大成丸」「コンチェルト」、右奥は「ロイヤル・プリンセス」



「にっぽん丸」引退公表後、初の出会い



出港する「りつりん2」今年中に代替？



川崎重工で保管されている元「セブンアイランド虹」



液体水素運搬船「すいそ ふろんていあ」



帆走中の「みらいへ」の後ろを横浜に向かって南下する「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」



上の横帆は万博仕様



帆走訓練中の「みらいへ」にて



2. 「エスメラルダ」を大阪湾上で出迎え、並んで機帆走

翌 12 日（木）早朝に揚錨、もやが立ち込める中、7 時頃に「エスメラルダ」と遭遇して展帆し、8 時から 9 時頃まで機帆走で並走して、その後、畳帆、10 時半頃、「エスメラルダ」は大阪港外で投錨して停泊し、「みらいへ」はその周りを一周した後、11 時過ぎに天保山に着岸した。

当日の天気は視程が 5km 程の曇で真向いの北寄りの微風、帆船にとっては最悪の環境だったが、めったにない機会に参加できて良かった。ただ、巡視艇やマスコミのヘリ等は一切来ることも無く、近隣漁連からの監視船が 1 隻、見に来たヨットが 1 艇だけだったのは、少し拍子抜けした感もあった。

「みらいへ」は。
2025 年大阪・関西万博スペシャルサポーター



展帆して「みらいへ」の左舷側に並んでくる「エスメラルダ」真向いの風で横帆が逆帆なのが残念！

- （上左）乗員が登檣して解帆
- （上中）展帆中
- （上右）ほぼ展帆完了
- （下）横に並んできた



「みらいへ」と並走する「エスメラルダ」この間、登舷礼を実施



「みらいへ」と並走する「エスメラルダ」



「みらいへ」は畳帆中、右は錨地に向かう「エスメラルダ」



錨地に向かう「エスメラルダ」



錨泊した「エスメラルダ」の周りを一周

3. 大阪港の船々

久々の大阪港で色々な船を見ることができた。見られる景色はそんなに変わらないと思うが、小粒の船ばかりになった横浜港と比べると、なかなか頼もしい。(学会ニュース 2025-49 (0520) 【【レポート】横浜の遊覧船 202505】参照)



南港フェリーターミナルのフェリー 左から「フェリーきょうと」「おれんじ えひめ」「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」



万博に向け来日したカナダ・コーストガードの砕氷船「サー・ウィルフリッド・ローリエ」中央突堤北岸壁に着岸中



遊覧船「サンタマリア」



キャプテン・ライン「キャプテン・シルバー」



ユニバーサル・クルーズ「UC200」(ミヤクミヤク 200)



ユニバーサル・クルーズ「UC80」(ミヤクミヤク 80)



ユニバーサル・クルーズ「UC70」



遊覧船「鴻運丸」



岩谷産業の水素燃料電池船「まほろば」 思っていたより大きかったが、どちらが船首か一瞬??



天保山岸壁に着岸した「みらいへ」



大阪市営渡船「桜」天保山渡し